

## 病院見学のご案内

病院見学は、1日見学を基本に午前と午後に2つの診療科を見学します。当直時間帯の見学や2日間の見学などもできる限りご要望にお応えしますので、お気軽にご相談ください。見学にあたっての交通費は、病院から支給されます。(上限3万円)遠方からの見学で宿泊が必要な場合には、掛川駅周辺のホテルを提供します。



### お申し込み方法

当院ホームページリクルートサイトの「病院見学申込フォーム」から受け付けています。  
※ 見学希望日の10日前までにお申し込みください。

「バーチャル病院見学」として、院長からのメッセージや研修医の雰囲気、勉強会や日当直の様子など、当院の臨床研修の情報をYoutubeで配信しています。ぜひご覧ください。(詳細は、当院ホームページからご確認ください。)

## 2021年度採用研修医 募集要項

募集人数	14人
試験日程	<p>第1回 試験日：7月17日（金） 応募締切日：7月10日（金） 第2回 試験日：8月3日（月） 応募締切日：7月27日（月） 第3回 試験日：8月7日（金） 応募締切日：7月31日（金） 第4回 試験日：8月24日（月） 応募締切日：8月17日（月） 第5回 試験日：9月4日（金） 応募締切日：8月28日（金）</p> <p>・試験時間は午後を予定しています。 ・7月1日(水)から受付を開始します。</p>
応募資格	医師国家試験合格(見込み)者、2020年度医師臨床研修マッチング参加者
申込方法	<p>① 各試験日の応募締切日までに、ホームページの「マッチング試験 申込フォーム」からお申し込みください。(メール又は電話での申し込みも可能です。) ② 当院から折り返し受験日決定の連絡をします。受験日が決定しましたら、受験日の2日前までに以下の書類を郵送にてお送りください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 医師臨床研修申込書兼履歴書(当院指定様式)</li><li>● 卒業(見込み)証明書</li><li>● 成績証明書</li></ul>
選考方法	書類審査、面接試験
その他	受験にあたっての交通費は、病院から支給されます。(上限3万円) 遠方からの受験で宿泊が必要な場合には、掛川駅周辺のホテルを提供します。

詳細は、当院ホームページをご参考ください。 <http://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/recruit/>



掛川市・袋井市病院企業団立  
**中東遠総合医療センター**

〒436-8555 静岡県掛川市菖蒲ヶ池1番地の1  
担当:中東遠総合医療センター 管理課  
TEL:0537-28-9501 (直通)  
Mail:kensyu@chutoen-hp.shizuoka.jp



CHUTOEN GENERAL MEDICAL CENTER

掛川市・袋井市病院企業団立  
**中東遠総合医療センター**

2021年度採用 初期臨床研修プログラム



# Feel The Quality

## 日本トップクラスの臨床研修病院を目指して

当院は、「日本トップクラスの臨床研修病院」を目指しています。

そのために、より魅力的な、実効性のある研修プログラムを構築し、全医療者が診療だけではなく教育にも力を入れ、高い目標を達成できるような体制を整えています。

当院の臨床研修で必要となるのは主体性です。受け身ではなく、自ら考え勉強し、積極的に臨床経験を積んでいける人材を求めています。救急症例数は静岡県内トップクラスで、24時間365日さまざまな症例を幅広く経験できます。指導医はもちろん、看護師、コ・メディカルも研修医教育に非常に熱心です。

また当院では、初期研修から専門研修までの継続的な研修プログラムを構築しています。

初期研修の間も3年目以降を見据えた研修を提供しています。新専門医制度の制約はありますが、専門研修までのできるだけ長い期間を当院で研修してほしいと考えています。



企業長兼院長 宮地 正彦

## 病院情報

開院日	病床数	診療科
平成 25年5月1日	500床	33科
外来患者数	入院患者数	内科(総合内科、循環器、消化器、呼吸器、腎臓、脳神経、血液・腫瘍、糖尿病・内分泌) 外科(一般、消化器、血管、他) 整形外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、麻酔科、放射線診断科、腫瘍放射線科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、救急科など
約1,280人/日	約450人/日	医療設備
医師数	指導医数	手術室 11室 / 手術支援ロボット da Vinci / 救命救急センター病棟 10床 / ICU・CCU 14床 / NICU 3床 / リニアック / PET-CT / 血管造影撮影装置 3台 / CT 3台 / MRI 2台

(2020年4月1日現在)

## 待遇

身 分	非常勤職員(会計年度任用職員)
給 与	1年次: 年収 650万円~700万円程度 2年次: 年収 750万円~800万円程度 ※ 諸手当を含む目安です。
勤務時間	原則、土日祝日を除く8:15~17:00 日直は月4回程度 (当直明けの勤務は原則9:00まで)

## ○ 研修科目と研修スケジュール

### 必修科目

内科 24週 救急部門 12週  
外科、整形外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、麻酔科、精神科、地域医療 それぞれ4週

※ 内科研修は、総合内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液・腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科から選択しローテートします。

※ 救急部門研修は、救急外来(ER)またはICUで研修します。

※ 精神科研修は、協力病院(菊川市立総合病院または浜松医科大学医学部附属病院)で研修します。

※ 地域医療研修は、協力病院(公立森町病院、森町家庭医療クリニック、菊川市家庭医療センターまたは御前崎市家庭医療センター)で研修します。

### 選択科目

中東遠総合医療センター(各科)、浜松医科大学医学部附属病院、菊川市立総合病院(精神科)、公立森町病院・森町家庭医療クリニック(地域医療)、菊川市家庭医療センター(地域医療)にて研修医の希望により決定します。

### 外来研修

総合内科、小児科、地域医療の研修において、計4週以上の一般外来での研修を行います。

### 研修スケジュール例(外科志望)

	1ターム	2ターム	3ターム	4ターム	5ターム	6ターム	7ターム	8ターム	9ターム	10ターム	11ターム	12ターム
1年次	基礎研修	救急科	消化器内科	呼吸器内科	麻酔科	外科	総合内科	循環器内科	脳神経外科	救急科	泌尿器科	腎臓内科
2年次	循環器内科	整形外科	外科	産婦人科	救急科	小児科	総合内科	精神科	地域医療	救急科	外科	外科

■ 研修スケジュールは、研修医それぞれの希望を踏まえて決定します。

■ 3ターム先以降のスケジュールは、他の研修医との調整により変更可能です。

## ○ 研修医の年間スケジュール

令和元年度の例

4月	● 研修医オリエンテーション・基礎研修(1年次) ● 研修医歓迎会 ● 外部講師による救急勉強会
5月	● BLS研修
6月	● 外部講師による救急勉強会
7月	● CPC(臨床病理検討会)
8月	● JATECC(外傷初期診療)シミュレーション研修 ● シミュレーター研修
9月	● 研修医到達度試験 ● 外部講師による救急勉強会 ● EBM勉強会
11月	● 外部講師による救急勉強会
12月	● CV穿刺セミナー ● 外部講師による救急勉強会
1月	● 基本的臨床能力評価試験 ● 外部講師による救急勉強会 ● CPC(臨床病理検討会)
2月	● 研修医到達度試験(筆記、エコー、小外科) ● 外部講師による救急勉強会 ● EBM勉強会
3月	● CPC(臨床病理検討会) ● 研修医修了式、送別会

■ 上記のほか、研修医意見交換会(月1回)、研修医救急勉強会(週2回)、内科会(月2回)など、さまざまな勉強会・研修会を年間を通して開催しています。

## ○ 充実の研修環境と福利厚生

### 日当直体制

研修医の日当直は3名体制で、ウォーキン患者と救急車を対応します。  
上級医は内科、外科、小児科、救急、ICUに1名ずつあります。  
当直翌日の勤務は、原則9時までです。



### 研修医室

医局近くに広くきれいな研修医室があります。研修医それぞれに個別の机が貸与され、室内には研修用の図書や研修器具の他、仮眠スペースや懇談スペースもあります。



### 研修医住宅

病院周辺の民間住宅を提供します。ご自身で住みたい物件を選んでいただきます。  
敷金礼金は病院負担で、家賃6万円までの物件は、自己負担1万円。6万円を超えた場合は、超えた額が自己負担となります。



### 周辺環境

新幹線掛川駅、東名高速道路掛川IC、から車で約5分と、交通の便に恵まれています。  
名古屋まで約60分、東京まで約90分と、学会や研修会などの際もとても便利です。



# 中東遠総合医療センター 初期臨床研修の強み

## 1 静岡県内トップクラスの救急症例数と指導体制

救急部門(救命救急センター)は、救急科医師(救急専門医を含む)の指導により、ERの外来診療からICUの高度集中治療まで充実した研修が可能です。救急車搬送患者数は静岡県内でもトップクラスで、近隣に同規模病院が少ないとことから、24時間365日、さまざまな症例を経験することができます。

また、救命医療の主要な領域である循環器内科・脳神経外科・整形外科・外科は、24時間の救急体制を敷いているなど、すべての診療科において救急科医師との連携による質の高い診療を研修できます。

救急患者 20,550 件/年

救急車搬送 6,228 件/年

救急科専門医 4 名

集中治療専門医 2 名



## 2 研修医主体の勉強会・研修会で確実なレベルアップ



当院では救急外来・日常診療での研修医のレベルアップを図るべく、さまざまな勉強会・研修会が企画されています。

- ・研修医のための救急勉強会(週2回程度)
- ・外部講師による救急勉強会(年6回以上)
- ・研修医到達度試験(年2回)
- ・内科会(月2回程度)
- ・臨床病理検討会(CPC)(年5回程度) など

研修医到達度試験は、1年目の9月と2月に実施しています。主に救急外来での初期対応について、知識や技術の習得状況を確認し、研修医全員の確実なレベルアップを図っています。

内科会や臨床病理検討会(CPC)では、専門医のサポートを得て研修医が症例を発表します。学会発表の練習にも役立ちます。

## 3 病院全体で研修医をサポート

毎年、医学生が当院での研修を選択する理由の上位に、「雰囲気の良さ」が上げられます。当院では各科に「臨床研修担当医師」を配置しています。毎月の研修開始時のオリエンテーション、研修指導、研修評価・フィードバックと、臨床研修担当医師が責任を持って丁寧に指導します。

また、指導医だけでなく、看護師やコ・メディカルも積極的に研修医教育に関わり、病院全体で研修医を育てる環境が整っています。「職種間の風通しがよく明るい雰囲気」は、当院の大きな特徴の一つであり、質問しやすく、わからない時は誰でも丁寧な指導を受けることができます。



## 4 大学病院並みの充実の施設設備

当院は、平成25年に開院した病院で、施設は新しく、da VinciやPET-CTなどの最新鋭の医療設備が整っています。

手術室 11 室

救命救急病棟 10 床

NICU 3 床

PET-CT

CT 3 台

手術支援ロボット da Vinci

ICU・CCU 14 床

リニアック

血管造影装置 3 台

MRI 2 台



## 5 主要な診療科が揃い、幅広く自由度の高い研修を提供

静岡県中東遠医療圏(人口約47万人)の基幹病院として、主要な診療科が揃っていることで、さまざまな症例を幅広く経験することができます、ローテート志望から専門科志望まで、自由度の高い研修を提供しています。

診療科目 33科

総合内科・糖尿病・内分泌内科・腎臓内科・血液・腫瘍内科、  
脳神経内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・外科、  
整形外科・脳神経外科・小児科・産婦人科・泌尿器科・皮膚科・眼科・耳鼻いんこう科・放射線診断科・腫瘍放射線科・  
麻酔科・病理診断科・臨床検査科・救急科 など

入院患者数 約 450 人/日

平均在院日数 10 日

外来患者数 約 1,280 人/日

手術件数 約 4,700 件/年

常勤医数 136 人

臨床研修指導医 37 人

## 6 2年連続 研修医14人 フルマッチ達成

### 研修医の出身大学(平成25年度以降)

北海道大学、旭川医科大学、札幌医科大学、弘前大学、埼玉医科大学、  
日本大学、東京医科歯科大学、東京慈恵会医科大学、順天堂大学、  
聖マリアンナ医科大学、昭和大学、杏林大学、東海大学、新潟大学、  
信州大学、浜松医科大学、名古屋大学、名古屋市立大学、愛知医科大学、  
藤田医科大学、岐阜大学、福井大学、滋賀医科大学、大阪市立大学、  
近畿大学、鳥取大学、島根大学、広島大学、山口大学、高知大学、  
産業医科大学、長崎大学、熊本大学、鹿児島大学、宮崎大学

2018年度、2019年度と2年連続で研修医14人フルマッチを達成しています。

当院の研修医は全国各地の大学から集まっており、特定の大学に偏りがないのが特徴で、誰でも研修を行いやすい雰囲気があります。



## 7 初期研修から専門研修まで継続的な指導

当院では、初期研修から専門研修までの継続的な研修プログラムを構築しており、当院で初期臨床研修を修了した研修医のうち、50%以上が当院での専門研修(後期研修)を選択しています。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
採用研修医数	6 人	9 人	10 人	7 人	9 人	14 人	14 人
当院で専門研修(後期研修)を行った数	5 人	5 人	5 人	3 人	5 人		

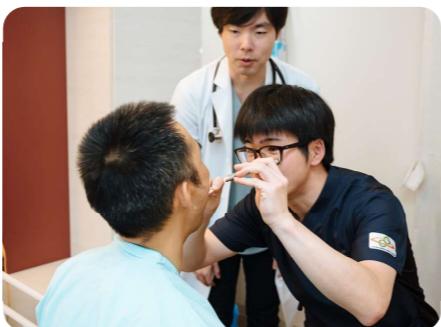
## ● 内科系 必修科目

**総合内科（内科一般）**

過不足ない病歴聴取、頭から足先までの系統立った診察、検査の解釈、これらと過去の情報をまとめて初めて1人の患者さんを理解できます。1つの疾患しか診られない医師ではなく、1人の患者さんを受け持ち、そこから学べる医師であります。上級医の指示をただ実行することは、研修とは言いません。自ら考えたことを、自らの責任のもと実行して、その結果をしっかりと受け止めることができが良い研修につながると思っていますので、そのサポートを当科では行っています。

**総合内科（糖尿病・内分泌）**

糖尿病診療の最終目標は血糖値を下げることではありません。急性期合併症・慢性期合併症を起こさないように非薬物療法・薬物療法を組み合わせることが大切です。医者の押しつけではない、患者さんが自ら頑張りたくなる医療を、チームとして提案していきます。



**循環器内科**

心臓は勿論、下肢や頸動脈等全身のかテーテル治療、不整脈のアブレーション・ペースメーカー留置等、内科医でありながら外科的な手技を多く身に付けることができます。特にPCIは400件を超え県内でもトップクラスです。当科はチーム医療を重視し、やる気のある若手医師が多く活気に満ちあふれ、忙しいながらも楽しむ研修をしながら各種専門医の習得を目指します。

**呼吸器内科**

当科は現在若手が多く、活発な雰囲気のなかで診療を行っています。呼吸器学会など主要な学会の専門医になれる教育施設であり、気管支鏡などの検査を行う多くの機会があります。感染症、間質性肺炎、肺癌などの幅広い疾患を扱っており、十分な症例の経験を積むことができます。

**消化器内科**

当科は地域の中核として、上部消化管疾患、下部消化管疾患、肝臓疾患や胆道・膵臓疾患まで消化器疾患全般を広範に診療しています。消化器病学会指導医・専門医、消化器内視鏡学会専門医、肝臓学準指導医・専門医が在籍している当科における研修では、急性疾患から慢性疾患まで多数の症例を経験し、内視鏡手技やエコーガイド下の穿刺手技を含めた検査処置、内科医として必要な技能の習得を目指し、指導します。

**腎臓内科**

当科では各種腎炎、ネフローゼ、急性腎障害、慢性腎臓病などの腎疾患の診断・治療技術の研修を行います。中でも、電解質異常の管理、透析のマネジメント(新規透析導入約50人、通院透析患者約100人)、腎生検(年間約30件)、シャント関連の手術(年間約90件)やカテーテル治療(年間約70件)を積極的に行ってています。腎臓は全身管理が重要であり、Generalistとしての能力向上を目指しています。

**脳神経内科**

当科は日本神経学会準教育施設であり、多彩な神経疾患を診療する機会に恵まれています。特色として、睡眠医療の専門医・専門技師が在籍しており、幅広い睡眠疾患の診療を行っています。また、「認知症疾患医療センター」の指定を受けており、最先端の認知症診断も行っています。

**血液・腫瘍内科**

血液・腫瘍内科では急性白血病、多発性骨髄腫などの血液悪性腫瘍を含めた各種の血液疾患の診療を行っています。症例は多く、幅広い疾患を経験できます。化学療法は専門薬剤師、専門看護師等と連携したチーム医療で行っており、環境が整っています。

## ● 外科系 必修科目

**外 科**

消化器癌の外科治療に力を入れています。胃癌・大腸癌に対しては腹腔鏡下手術を積極的に行って、今後は手術支援ロボット da Vinci を導入する予定です。血管合併切除を伴う脾臍十二指腸切除術や肝門部胆管癌手術などの高難度手術も積極的に行ってています。乳癌の症例数も増加傾向です。精緻な手術ができる外科医を育成することを目指しています。

**整形外科**

当科では、救命救急センターにおいて救急科などと密に連携を図りあらゆる外傷に対応しています。また脊椎手術は毎年150件を超え、県内でもトップクラスです。初期研修では外傷の初期対応に積極的に参加していただき、また脊椎や関節などの慢性疾患においても十分な経験を積むことができます。



**脳神経外科**

当科は上級医5名の体制で、脳神経外科学会、脳神経血管内治療学会、脳卒中学会の各専門医習得の体制を整えている県内でも数少ない施設です。中でも、脳動脈瘤治療をはじめとする脳血管内治療領域、開頭脳動脈瘤クリッピング術などの脳卒中外科領域には指導医が在籍し、県内唯一の研修ネットワークプログラムを持っているなど、ハイレベルな研修が可能です。

**脳神経外科**

当科は上級医5名の体制で、脳神経外科学会、脳神経血管内治療学会、脳卒中学会の各専門医習得の体制を整えている県内でも数少ない施設です。中でも、脳動脈瘤治療をはじめとする脳血管内治療領域、開頭脳動脈瘤クリッピング術などの脳卒中外科領域には指導医が在籍し、県内唯一の研修ネットワークプログラムを持っていながら、ハイレベルな研修が可能です。



## ● その他 必修科目

**救急科**

静岡県内でも指折りの救急症例数を誇る救命救急センターを有しており、風邪から超重症疾患まで非常にバラエティに富んでいます。また、静岡県内では数少ない、エビデンスに基づいた集中治療を学ぶことができます。



**麻酔科**

年間2,000例を超える症例を、日本麻酔学会指導医5名のもとで全身麻酔を中心に行っています。超音波下区域麻酔や新しい麻酔薬も積極的に導入し、術中の全身管理を臨床薬理学、臨床生理学に基づき実際に学びます。幅広い年齢層、特に循環器系の合併症がある患者が多いのが特徴です。ペインクリニックや緩和医療も専門医がいて学べます。



**小児科**

スタッフ8人で年間入院患者数は1,000人以上。新生児からすべての分野の小児科医療の研修ができます。1人の研修医に1人の指導医をつけて、小児科一般診療全般のスキルを身につけ、学会発表ができるまでしっかり指導できる体制ができます。

**産婦人科**

分娩数は年間約500例、チーム一丸となって地域のハイリスク妊娠分娩管理を行っています。帝王切開術から良性腫瘍の腹腔鏡手術、悪性腫瘍手術まで妥協することなく行っており、当科で一般産婦人科領域から産科婦人科の専門領域まで幅広く研修できます。

## ● 選択科目

**放射線診断科**

当科では、画像診断の他、血管内カテーテル治療や、各種穿刺・ドレナージ系など幅広いIVRに対応しています。迅速で適確な画像診断・IVRを目指し、救急診療にも積極的に協力しています。



**腫瘍放射線科**

放射線治療は癌治療には必要不可欠です。放射線治療はさらなる低侵襲化をめざしており、いっそうの高精度化が求められます。また高齢化に伴い、患者数の増加は確実です。扱う疾患はほぼ全科に渡っていますので、科の枠にこだわらず、癌の知識を深めたい方は腫瘍放射線科を考えてみてください。

**眼 科**

地域の基幹病院として、弱視などの小児疾患、緑内障などの一般疾患、網膜剥離などの緊急疾患まで、様々な症例に富んでいます。手術は白内障手術が最も多いですが、硝子体手術眼も積極的に行ってています。その他瞼下垂などの外眼部疾患や、レーザー治療や緑内障手術も行っており、幅広い手技を経験できます。



**耳鼻いんこう科**

耳鼻咽喉科の診療領域は広く、多岐にわたります。めまいや中耳炎を扱う耳科領域、アレルギー性鼻炎や副鼻腔疾患を扱う鼻科領域、頭頸部腫瘍を扱う頭頸部腫瘍領域があり、当院でも多くの経験することができます。無理なく医学的知識・診療技術を習得することができます。

**泌尿器科**

当科では、ロボット支援手術や腹腔鏡手術を積極的に行って、その学会認定医の養成が可能です。また、経尿道的手術例も多く、初期研修からその術式を数多く経験できます。当科研修中は、泌尿器疾患の初期診断から先端手術まで幅広い経験を積むことができます。



**皮膚科**

当院で扱う皮膚疾患は湿疹や白斑などのcommon diseaseから難治性皮膚疾患に対する生物学的製剤治療、悪性黒色腫の薬物療法と多岐にわたるため、研修することで幅広い知識と経験を積むことができます。当院は県中西部で唯一の、皮膚悪性腫瘍指導専門施設です。その特徴から、皮膚がんに関しては、診断から治療までのすべてを経験することができます。